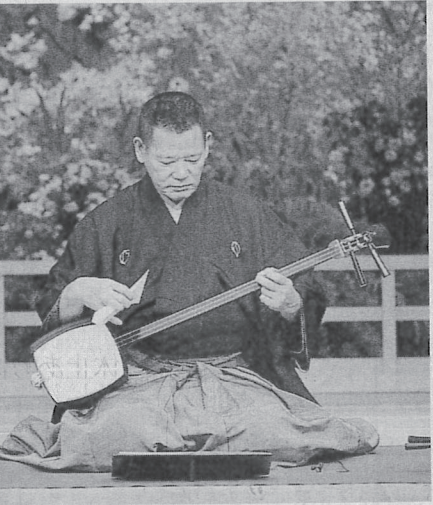


本條會「三味線公演」 9.5 国立劇場で開催



報知端唄（はうた）鑑賞会に出演している本條流家元・本條秀太郎「写真」が、第50回本條流三味線東京公演「本條會」を9月5日（土）に東京・国立劇場大劇場で開催する。

端唄は、「江戸端唄」とも言われ、江戸人の粹と洒落さの中から生まれた流行歌。庶民の生活に深く根ざし、武士から町

人まで、幅広く江戸人にもてはやされた、身近で洗練された室内歌曲と言える。

また、本條が1969年に創作を開始、新しい日本民族音楽としての三味線音楽の「俚奏楽」。三弦の持つ表現の自由闊達さに回帰し、時代で受け継がれてきた「うた」。普遍的・民族的な躍動感や旋律をモチーフに生ま

れた。

当日は俚奏楽本條流祝儀曲「松」写真下で幕を開け、民謡、江戸端唄などが楽しめる。中でも注目は、第3部 J-TRAD 現代民族歌謡 J voice 現代神楽「スサノヲ頌歌」。水を制し味方にし、稲作を日本国土にもたらし豊穰を約束した神とされる素戔嗚伝説に、「水のまつり」をテーマに本條が挑んだ創作現代神楽であり、今回初演となる。特別出演の島田歌穂が舞台を盛り上げる。洋楽、舞踊、ミュージカルなどとのコラボをはじめ、枠にとらわれない活動で知られる本條秀太郎の集大成の舞台となる。



【日時】9月5日（土）
昼の部 午前11時開演、夜の部 午後4時30分開演（開場は30分前）。

【場所】国立劇場・大劇場（東京都千代田区豊町4番1号） ☎03・3265・7411

【入場料】▽S席 1万円▽A席 6000円▽B席 3000円。

【問い合わせ】橘音楽株式会社 ☎03・3330・35180

【交通】東京メトロ半蔵門線半蔵門駅1番出口徒歩5分・同有楽町線永田町駅徒歩8分